



○「九条の会」は04年6月、井上ひさしや大江健三郎、澤地久枝ら9人の呼びかけで「憲法9条を守る」という一点で、生まれた会です。今や全国に7,507、福島県内でも100以上の会が、無党派で、独自の、自由な、平和のための活動をしています。

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.144

2010(平成22)年 8月16日(月)発行

＜昭和天皇が昭和20年8月15日正午に行った終戦の「玉音放送」は＞



■玉音盤は抗戦派将校たちに発見されず、放送は8月15日の正午に、無事行われた。現在も東京・港区のNHK放送博物館に保管されている玉音盤。

●「朕(ちん)深く世界ノ大勢ト帝国ノ現状トニ鑑(かんが)ミ 非常ノ措置ヲ以テ時局ヲ收拾セムト欲シ 茲(ここ)ニ忠良ナル爾(なんじ)臣民ニ告グ 朕ハ帝国政府ヲシテ 米英支蘇四国ニ対シ 其ノ共同宣言ヲ受諾スル旨 通告セシメタリ…堪ヘ難キヲ堪ヘ忍ビ難キヲ忍ビ 以テ万世ノ為ニ 太平ヲ開カムト欲ス…」

●15日正午、日本国民は何ごとの放送かといぶかしみ、若いも若きもラジオの前に立った。君が代の奏楽につづいて天皇の声(玉音・ぎょくおん・ぎょくいん)が電波に乗って流れ始めた。すべての国民にとって、初めて耳にする「現人神(あらひとがみ)」の声だった。(筑摩書房『一日一史』より)

終戦記念日特集 その③

非核三原則、集団的自衛権も見直したなんて!

終戦の時、相農生たちは

玉音放送に一同涙を流す
 「八月十五日。報国農場作業。正午、作業の生徒二、三十名と共に大亀さん宅に至り、玉音放送を聴く。無条件降伏の聖断下る。一同涕涙して首を垂る。午後、虚脱感の為実習不能也。寄宿に帰ってみたら松根油作りに派遣されていた海軍さんが居なくなっていた。彼等の食糧は不払いで、余の負担する所となった。」

玉音放送に一同涙を流す

65回目の終戦記念日を迎え、「反省と鎮魂」、「平和希求」の時のために、菅首相の私的諮問機関「新たな時代の安全保障と防衛力に関する懇談会」の〈右コピー〉のような報告書が、7月26日に明らかになり、驚きと怒りがこみあげてきます。

非核三原則や武器輸出三原則、集団的自衛権の見直しまで踏み込んで、戦後六十五年間積み上げてきた平和をめざす国民の良心を、全く無視し、まるで歴史に逆行するかのようです。まさか、

まるで歴史に逆行する「報告書」

■報告書案の骨子

- ・「基盤的防衛力」の概念が有効でないことを確認
- ・非核三原則に関して、一方的に米国の手を縛ることは必ずしも賢明ではない
- ・離島地域は、自衛隊の部隊配備を検討する必要がある
- ・武器輸出三原則下の武器禁輸政策は見直しが必要
- ・PKO参加5原則は、修正を積極的に検討すべきだ
- ・(集団的自衛権について)柔軟に解釈や制度を変える必要がある

▲7月27日『朝日新聞』よりコピー

本気で、今にも北朝鮮や中国と戦争を始めるつもりなのか。「理想論ではだめだ。現実を見たまえ」という戦争大好きな防衛族の得意げな顔が目には浮かんできます。それに反論できない歯がゆさ情けなさ。マスコミや評論家が大きく取り上げないのも、所詮はテレビも新聞も、戦時中と同様に、権力者、為政者、防衛省(軍)の側にいるためなのか、と考えたくもありません。(原町区西町 Yさん 64歳)

旧海軍の上官たちが笑いながらの回顧談

終戦直前の八月一日生まれなので、直接の戦争体験はありません。でも最近のNHKのテレビ番組で当時の海軍の指導者、上官たちが「笑いながら」戦争中の話をしていて、本当に腹が立ちました。自分たちの命令でたくさんの方が戦死しているのに、責任を感じていないのでしょうか。全く無責任でひどい。戦後ものうと生きてきて恥もありません。もう戦争の番組は見たくありません。私の夫は3歳のころ、鹿島区で空襲に会い、その時、姉の背中におぼわれていたことを、うっすらと覚えているそうです。(原町区西町 Sさん 65歳)

(二上英朗著「原町空襲の記録」より)

※これは、相馬農蚕学校へ現在の相馬農業高校の門馬太教諭の、昭和二十年八月十五日の日記です。門馬太先生は、戦争中の大変困難な時、他の教員が嫌がる寄宿舎の舎監を引き受け、七、八十人の寄宿生徒の食糧確保にも献身的に努めていたそうです。



松元ヒロソロライブ 9月1日(水) 6時開場 会場:朝日座

チケット:1,500円 主催:朝日座を楽しむ会 後援:はらまち九条の会

これまで何度も原町に来ている松元さんは、ナント「はらまち九条の会」会員です。3年前の07年6月にも本会主催でソロライブを開催。「ザ・ニューズペーパー」を結成。平和憲法を話題に政治家を風刺し、コミカルな独り語りのライブで、全国各地で活躍!

○チケットは、市役所地下売店・クリーニング北洋舎本店・京都屋・おうち書店で販売中!

会員の皆様より



「年会費1,500円にしてはどうでしょうか?」

■事務局よりの紙面を拝見させて頂きました。郵便料金の面でも本当に頑張っておられる事に感謝申し上げます。年間数回の会報の発行する組織でありながらも1年間の会費が1,000円で運営出来る団体は、世界ギネスブックに載っても不思議でもありません。その観点からも、次年度からは1,500円の会費にしてはどうでしょうか。役員会での検討を、お願い致します。(匿名、原文のまま掲載)

<事務局より> むしろ会費無しにしたい!

事務局で相談しました。年会費はそのまま千円でやっていきます。会費をいただく時、申し訳なくドキドキして、思わず頭を下げてしまいます。

赤城山にも「憲法九条は世界の宝」の看板

■毎月のニュース送って頂き有難うございます。ご苦労様です。6月の封筒に印刷の“イラ菅”を皮肉った川柳はおもしろいです。ますます油断は

できない状況になっています。

先日、ご近所の女性3人で赤城山へ行きました。帰り道に国道17号線沿いに、大きな看板を見つけました。渋川市と前橋市の境界線ぐらいです。「憲法九条は世界の宝」だったと思います。嬉しかったです。……(群馬県前橋市の匿名会員より)

■ 被爆少女の身体を解剖するなんて…

昨日は広島原爆の日で、夜のNHKスペシャルの封印された原爆報告書を見て、被爆した少女の体が解剖されたり、とても悲惨でショックを受けました。戦後一番早く、丸木夫妻の『原爆の図』が東京で公開された時、私は見ておりますし、その後長崎にも参りましたので、その時の驚きも目に焼きついておりますが…。



私も、もし広島、長崎、沖縄などに暮らしてありましたら(勿論東京も空襲されましたが)、と考えますと、15歳だった夏を人ごととは考えられません。…(仙台市の会員・西牧敬子さんより。西牧さんは、会報143号の原高校歌作詞者多田利男さんの長女で、会報123号に戦争体験を寄せられています)

◎8月15日、相双地区9条連(代表水井清光さん)は、原ノ町駅前「子供たちの未来のために憲法九条を守ろう!!」のチラシを配布していました。本会も次の活動を考えなければいけませんね。

◎8月15日午後、会報139号でお知らせのように、ゆめはっとでは「野馬追ミュージックフェスティバル」が開かれ、世界的クラリネット奏者の北村英治・高浜和英(ピアノ)のデュオステージもすばらしかった。地元の「プレーメンクワイッドオーケストラ」、「ゆめはっとジュニアクワイッドオーケストラ」や、大勢の合唱団も参加して、名曲“SingSingSing”のステージも感動的でした。平和を祈念しての演奏でしたが、もっと多くの市民の入場があれば、といつもの感想です。



事務局より

◆2010年の年会費千円の納入ありがとうございました。未納の方は各事務局員に直接手渡すか、「ゆうちょカード」を使用(138号参照)いただければ手数料もかかりません。

◆8月6日8時15分、9日11時2分、15日正午、南相馬市役所のサイレンが“無事に”鳴り、

平和を祈念しました。2年前には「サイレン鳴らさずの忘れた!」ということもありましたが。

◆“云うまいと思えど今日の暑さかな” 今夏の暑さは狂気じみています。本会会員の皆様には(事務局を含め)ご高齢の方も多いのですが、お身体をご自愛の上、涼しくなるまでもう少しがんばりましょう。



「はらまち九条の会」事務局連絡先 ○会長:平田慶肇 TEL0244-24-1211
○事務局長:山崎健一 〒975-0014 南相馬市原町区西町3-53-2 TEL22-8631
○会計:井上由美 TEL22-7511・FAX26-0892 ○石田賢二 TEL22-4037
○早坂吉彦 TEL22-0326 ○番場恵子 TEL22-0715

<名歌>「黒き瞳に明日の平和を担う児になれよと母は高く抱きあぐ」伊藤さち